

# アグリ ワーク ポイント AGRI WORK POINT



## 的確な摘果で品質向上につなげましょう

果樹林産センター 青島 大貴



### 着果管理

生理落果が終了すると、その年の着果量が確定します。連年結実を目指し、樹ごとに生理落果後の状況を確認して、着果量の多い樹を中心に粗摘果を行いましょ。7～8月は、樹冠内部や裾部の果実、病害虫被害果、風ずれにより傷ついた果実などを摘果します。着果の少ない樹では、大玉になりやすいので粗摘果を抑え、なるべく着果負荷をかけて果実の肥大を抑えましょ。

### 品質向上対策

#### 《ライガロン乳剤散布》

根の活動を抑制し水分ストレスをかけます。果実の横径が平均3cm以上で、二次落果が終了していることを確認してから行いましょ。樹に大きな負担がかかるので、樹勢の低下している樹には散布を控えましょ。

	1回目	2回目
時期	満開後70日 (早生60日)	満開後90日 (早生80日)
倍率	2,000倍	3,000倍

#### 《マルチ被覆》

マルチ被覆は、水分の遮断による糖度上昇や反射光による着色促進効果もあります。被覆時期は早生温州が7月中下旬、青島温州が8月上旬～9月上旬です。園地の状態に合わせて被覆時期や被覆方法の選択を行いましょ。過度な乾燥は樹にとって悪影響になるので状況に応じてかん水を行いましょ。

### 病害虫防除

黒点病の防除は、累積降雨量250mmを基準に再防除を行います。まとまった雨が予想される場合はアビオンEといった固着剤も活用しましょ。

・黒点病 ペンコゼブ水和剤

500倍 (30日～4回)

・アザミウマ類、ミカンサビダニ コテツフ

ロアブル 4,000倍 (前日～2日)

・固着剤 アビオンE 1,000倍